

はじめに

私たちは立川市の子どもたちの代表として、市長さんから任命をいただいたという誇りを持って“立川市の役に立ちたい”との思いで、一生懸命活動してきました。

まずは、立川市について素直な意見をたくさん出し合い、それをテーマ分けし、この中で、私たち子どもにとって身近で重要なことである『地域の問題』に絞りました。その後、みんなから出た地域の問題を自分の目で見て確かめるため、市内を見て回りました。

市内を見て回った後、さらに話し合いをし、子ども委員会のみんなの意見で特に共通していることはなんだろうと考えたところ、『子どもにとって暗くて危険なところはまだある』ということがわかりました。それを受けて、私たちは“人も街も明るい立川市”というスローガンのもと、自分たちには何ができるかを考えてきました。

そして、その結論として大きく2つの提言をさせていただきます。

子ども委員会の手で『暗くて、危険な場所』に街路灯を設置したい（照度を上げてほしいものも含む）。

場所は、以下4ヶ所です。

① 立川市立第3中学校の北側道路

《理由》

- ・ 歩行者、自転車の利用が高いうえに、車の往来も多い。
- ・ 部活の帰りに友達と待ち合わせしているとき、暗くて友達の存在に気づきにくく、夜道を一人で帰ることになってしまうこともある。

② こんぴら橋付近の道路の急カーブ

《理由》

- ・ 玉川上水に沿った道路のため木が覆い茂っていて、街路灯の光がさえぎられる部分が多く、暗くなりやすい。
- ・ 玉川上水を挟んで北側にある道路の歩道が極端に狭いため、歩行者、自転車がこの道路を利用することが多い。さらに、車の通行量も多い。
- ・ 急カーブで視界が悪いのに、急カーブのポイントに街路灯がない。

③ 国立音大の裏の道路(ここは、照度を上げてほしいところ)

《理由》

- ・ 地域の生活道路であるにもかかわらず、街路灯が古くなっているため、照度が落ちており、通行人が夜道に不安を抱えている。
- ・ 4 中生在通学路として使っている。
- ・ 武蔵村山市との市境であり、武蔵村山市が管理している。一個人が願うより、立川市が願った方がきいてくれそう。

④ けやき台団地内の公園

《理由》

- ・ 公園に街路灯がないうえに、周りの団地内街路灯は老朽化が進み十分な明るさが確保されていない。
- ・ 管理が『独立行政法人 都市再生機構 北多摩住宅管理センター』だから、一個人が願うより立川市が願ったほうがきいてくれそう。

街路灯を設置してもらえたら、その街路灯に、『子ども委員会ステッカー』をはりたい。

《理由》

子どもが、がんばって取り組んだことが実現したということを知ってもらう。そのことによって、立川市のために何かできないかと考えている子どもたちが、参加したくなる環境を築くことができるから。

最後に

この1年間、私たちは、『地域の問題』について市長さんへ提言書を提出するために一生懸命がんばってきました。そのおかげで、立川市をより知ることもできました。

この提言書に書かれていることは、私たち子どもの真剣で熱い思いがいっぱい詰まった意見として、受け止めていただき、一つでも実現することを願っています。

これからも、みんなで協力して立川市のために頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします。

立川市子ども委員会中高生部会